

アスミック®

JIS A 6021 高強度&高伸張形 建築用ウレタン塗膜防水材
特定化学物質無配合（労働安全衛生法施行令）
F☆☆☆☆登録品

株式会社 ダイフレックス

アスミック事業部

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F 私書箱第6086号
TEL. 03-5321-9761 FAX. 03-5321-9767

<https://www.dyflex.co.jp/cosmic/>

代理店

株式会社 アクト

〒179-0083

東京都練馬区平和台3-5-11

TEL：03-5921-3655（代）

URL：代）<https://act-com.co.jp/>

高伸張・高強度ウレタン塗膜防水材料

アスミック[®]NB



株式会社ダイフレックス コスミック事業部は、長年にわたる研究開発により高強度で高耐久の超速硬化ウレタンの先駆者として塗膜防水材料を市場に供給してまいりました。

この度、高性能の手塗ウレタン塗膜防水材料「アスミックNB」を開発しました。

〈アスミックNBの特長〉

- 機械施工による超速硬化ウレタン塗膜防水材料でしか得られなかった高物性を実現。
- JIS A6021 建築用ウレタン塗膜防水材料の高強度形と高伸張形の物性を保有。
- 特定化学物質無配合。
- トルエン・キシレン無配合（TXフリー）。
- ノンブリード型のため高耐候な防水層を形成。

アスミックNBと各種下塗り材や上塗り材および通気緩衝シートや補強布（クロス）との組合せにより、様々な防水下地や使用用途に対応した高機能の防水層を提供できます。

INDEX

アスミック製品の特長 3

工法仕様 7

各種露出防水改修工法 7

露出アスファルト防水改修工法 7

塩ビシート防水改修工法 8

ゴムシート防水改修工法 9

FRP 防水改修工法 10

断熱＋押えコンクリート防水工法 11

室内防水工法 13

密着工法 14

一般密着工法 14

共通立上り工法 14

通気緩衝工法 15

CM マット K 15

CM 通気クロス 15

CA マット SB 16

公共建築工事標準仕様 17

納まり図例 19

施工方法 21

露出アスファルト防水下地の場合 21

塩ビシート防水下地の場合 22

ゴムシート防水下地の場合 23

FRP 防水下地の場合 24

室内防水の場合 25

一般下地条件 26

製品紹介 27

使用上の注意事項と維持管理のお願い 32

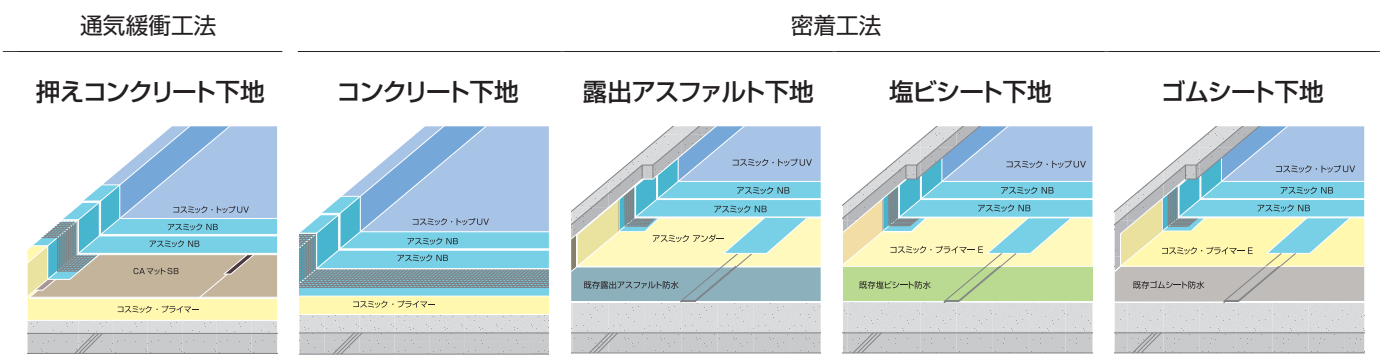
製品一覧 33

アスミックNB

配合比	主剤：硬化剤＝１：１（重量比）
特 徴	・主剤と硬化剤を混合攪拌して防水層を形成する２液反応形ノンブリードのカラーウレタン。 ・高強度形の強度で且つ高伸張形の伸びを有した防水性能・耐久性に優れたウレタン塗膜防水材です。

アスミックNB 立上り用

配合比	主剤：硬化剤＝１：１（重量比）
特 徴	・主剤と硬化剤を混合攪拌して防水層を形成する２液反応形ノンブリードのカラーウレタン。 ・たれ抵抗性（チクソ性）が高く、立上り面でもダレにくく厚みを確保できます。



通気性能を有するシートを全面接着させた上にウレタン塗膜防水を塗布する防水工法。膨れの原因となる下地水分（水蒸気）を通気させ、脱気筒から排出し、膨れにくい構造です。また、シートの緩衝効果により下地クラックの挙動に追随し、防水層が破断しにくい構造です。▶詳細は14ページへ

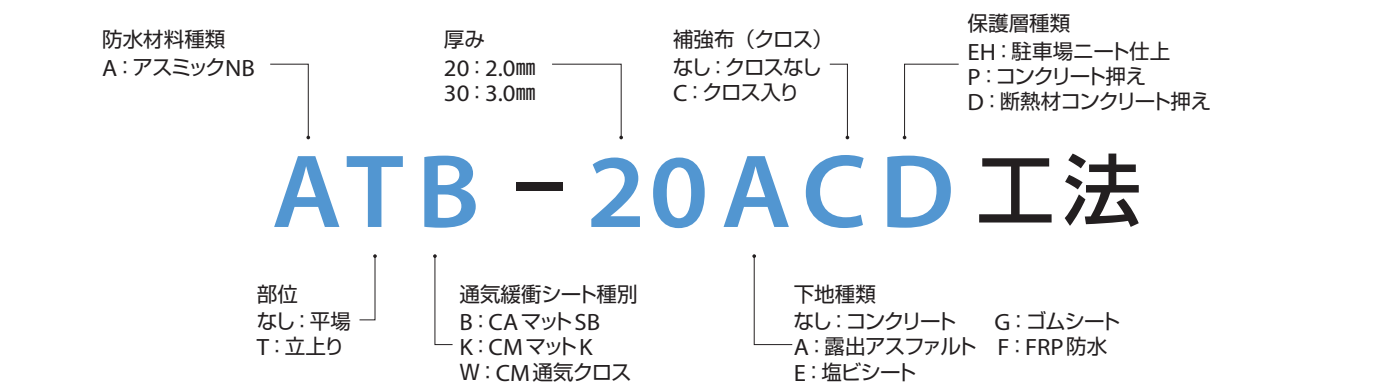
下地に直接ウレタン塗膜防水材を塗布する防水工法です。露出工法のみならず、納まりの良さと耐水・耐温水性を生かした狭小部位や複雑な形状部位、および室内防水等の押えコンクリートを施す用途に耐久性の高い防水層を実現します。▶詳細は12ページへ

露出アスファルト防水層下地に直接ウレタン塗膜防水材を塗布する防水工法です。アスファルトとの接着性と仮防水機能を有したアスファルトウレタン「アスミックアンダー」によって、既存の露出アスファルト防水層とシームレスなウレタン塗膜防水層が一体化し、複合的な防水層となります。▶詳細は8ページへ

塩ビシート防水層下地に直接ウレタン塗膜防水材を塗布する防水工法です。塩ビシートとの接着性を有したプライマーによって、既存の塩ビシート防水層とシームレスなウレタン塗膜防水層が一体化し、複合的な防水層となります。▶詳細は7ページへ

ゴムシート防水層下地に直接ウレタン塗膜防水材を塗布する防水工法です。ゴムシートおよびゴムシート用トップコートとの接着性を有したプライマーによって、既存のゴムシート防水層とシームレスなウレタン塗膜防水層が一体化し、複合的な防水層となります。▶詳細は9ページへ

アスミック®工法記号説明



アスミック®工法一覧

工法分類		適用下地および用途	通気緩衝シート 種別	補強布 (クロス) 有無	平均塗膜厚 (mm)	工法名			
露出仕様	平場	露出アスファルト防水	—	—	2.0	A-20A			
					3.0	A-30A			
		塩ビシート防水	—	—	2.0	A-20E			
					3.0	A-30E			
		ゴムシート防水	—	—	2.0	A-20G			
					3.0	A-30G			
		FRP 防水	—	—	2.0	A-20F			
					3.0	A-30F			
押えコンクリート 仕様	コンクリート	—	—	2.0	A-20P				
				3.0	A-30P				
				3.0	A-30D				
				4.0	A-40P				
	モルタル (室内防水)	—	—	2.0	AT-20P				
				3.0	AT-30P				
			CMクロス	2.0	AT-20CP				
				3.0	AT-30CP				
露出仕様	立上り	コンクリート	—	—	2.0	AT-20			
				CMクロス	2.0	AT-20C			
		露出アスファルト防水	—	—	2.0	AT-20A			
				CMクロス	2.0	AT-20AC			
		塩ビシート防水	—	—	2.0	AT-20E			
				CMクロス	2.0	AT-20EC			
		ゴムシート防水	—	—	2.0	AT-20G			
				CMクロス	2.0	AT-20GC			
	FRP 防水	—	—	2.0	AT-20F				
			CMクロス	2.0	AT-20FC				
公共建築工事 標準仕様	平場	コンクリート	CA マットSB	—	3.0	ABX-1			
			CM マットK	—	3.0	AKX-1			
			—	CMクロス	3.0	AX-2			
	立上り		—	CMクロス	2.0	ATX-2			
露出仕様	平場	コンクリート (押えコンクリート)	CA マットSB	—	2.0	AB-20			
					3.0	AB-30			
			CM マットK	—	2.0	AK-20			
					3.0	AK-30			
			CM通気クロス	—	2.0	AW-20			
					3.0	AW-30			
		コンクリート	—	—	2.0	A-20			
					3.0	A-30			
				CMクロス	—	2.0	A-20C		
						3.0	A-30C		
				立上り	コンクリート又はモルタル (既存撤去後)	—	—	2.0	AT-20
							CMクロス	2.0	AT-20C

高伸張・高強度形ノンブリードウレタン塗膜防水材

アスミック®NB

アスミック NB は、業界初 JIS A 6021 の高伸張形の伸びと高強度形の強度を持った手塗タイプの特長化学物質を含まない建築用ウレタン塗膜防水材です。汎用的に使用されている可塑剤をまったく使用しないノンブリードタイプのため、露出仕様でのトップコートの耐久性を格段に向上させ、発泡ポリスチレン断熱材をも侵しません。またアルカリ温水に対しても優れた耐久性を持った材料なので、汎用のウレタン塗膜防水材では適用できない様々な部位や用途に対応できます。

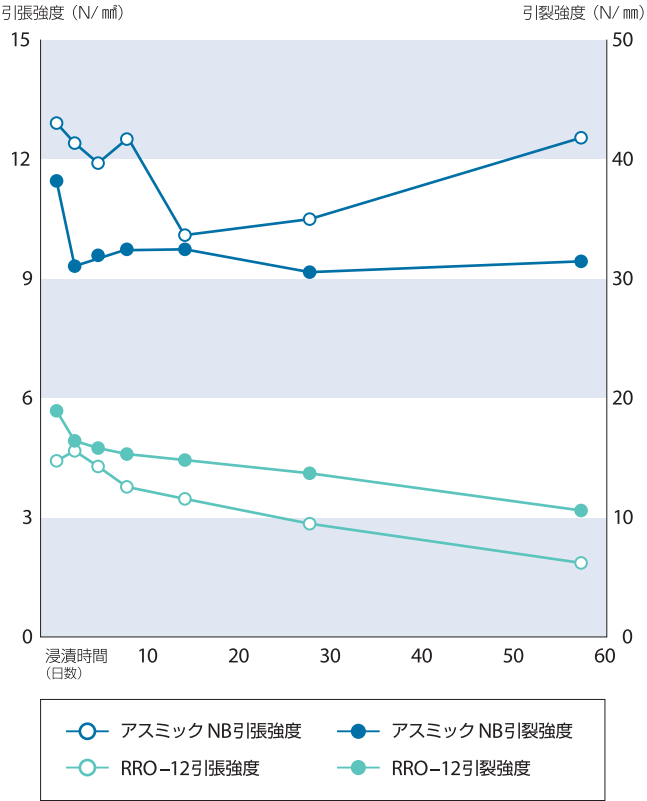
基本物性（代表値）

項目	温度（℃）	アスミック NB	建築用ウレタン塗膜防水材 JIS A 6021:2011 規格	
			高伸張形	高強度形
引張強度（N／㎟）	23	12.5	2.3 以上	10.0 以上
	－20	23.8	2.3 以上	10.0 以上
	60	8.3	1.4 以上	6.0 以上
伸び率（％）	23	710	450 以上	200 以上
抗張積（N／㎟）	23	1780	280 以上	700 以上
引裂強度（N／㎟）	23	39	14 以上	30 以上
硬度（タイプ A）	23	67	－	－

耐飽和アルカリ温水（60℃）浸漬試験結果

一般的な汎用 2 液ウレタンとアスミック NB の供試体を 60℃の水酸化カルシウムの飽和溶液に浸漬させて物性の変化を測定した。その結果、2 ヶ月経過した時点で初期値に対し汎用 2 液ウレタンは、引張強度で 41％、引裂強度で 56％に低下したがアスミック NB は、引張強度で 96％、引裂強度で 86％の物性を保持していた。アスミック NB のアルカリ温水に対する耐久性が確認できた。

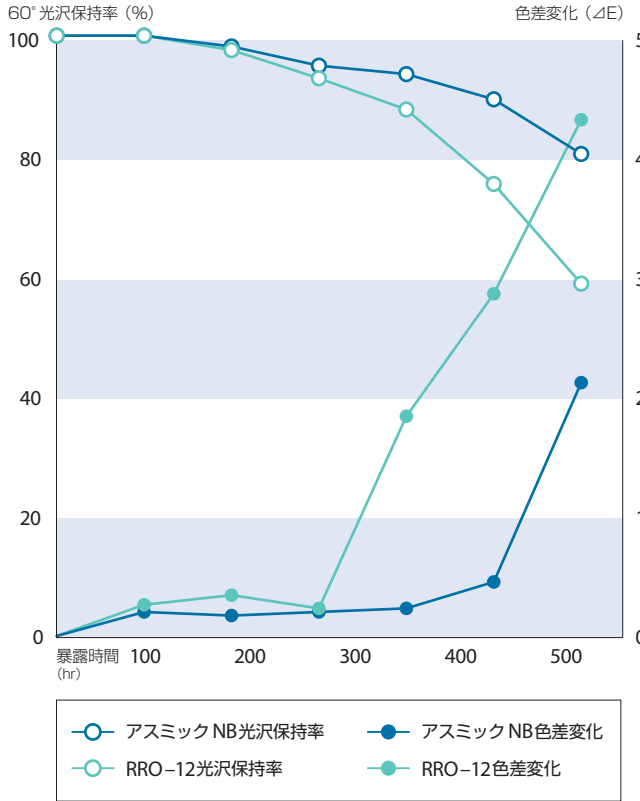
耐飽和アルカリ温水（60℃）性能比較



促進耐候性試験結果

一般的な汎用2液ウレタンと、アスミックNBに高日射反射塗料「コスミック・トップ UV」のライトグレーを 0.2kg/㎡を塗布した供試体を試験した。同じトップコートを使用した供試体でも、汎用2液ウレタンは約 300 時間で色差変化ΔEが 2.0 近く変化しているのに対し、アスミックNBは約 400 時間でも色差変化ΔEが 0.5 と変色し難いことが確認された。汎用2液ウレタンは約 300 時間で 60°光沢保持率が 90％を下回るのに対し、アスミックNBは約 400 時間で光沢保持率が 90％となった。

耐候性比較（光沢保持率／色差変化）



ウレタン＋アスファルト ハイブリッド 塗 膜 材

アスミック®アンダー

従来は露出アスファルト防水やアスファルトコンクリートなどのアスファルト系下地の場合、直接ウレタン塗膜防水材を塗布することが出来ず、ポリマーセメントモルタルなどによる下地処理（絶縁処理）が必要でした。しかしながら、温度上昇に伴い軟化するアスファルト下地に対し、剛性の強いポリマーセメントモルタルの層間で剥離する事例も見受けられます。アスミックアンダーは弾性を有した性状のため、アスファルトの温度変化による軟化や脆化にも追従します。ウレタン塗膜防水材とも完全に一体化する今までにないウレタン＋アスファルトのハイブリッド塗膜材です。

アスファルト系下地への接着性

露出アスファルト防水に直接塗膜防水を塗布する際に想定されるアスファルト系下地に対してのアスミックアンダーの接着力を 180°はく離試験にて実施した。結果、比較として試験を行った防水工事用アスファルト 3 種と同等の接着力が確認された。また砂付ルーフィング下地に対しては、砂を固着しているルーフィングのアスファルトコンパウンドまで流れ込み接着していることが確認された。

アスファルト系下地とアスファルト及びアスミックアンダーとの接着性能比較（強度：N／25mm）

下 地	アスファルトプライマー		防水工事用アスファルト3種		砂付ルーフィング	
写 真						
上 塗	アスファルト 3 種	アスミック アンダー	アスファルト 3 種	アスミック アンダー	アスファルト 3 種	アスミック アンダー
強 度	21	36	34	22	27	24
試験後写真						

アスミックアンダーへの接着性

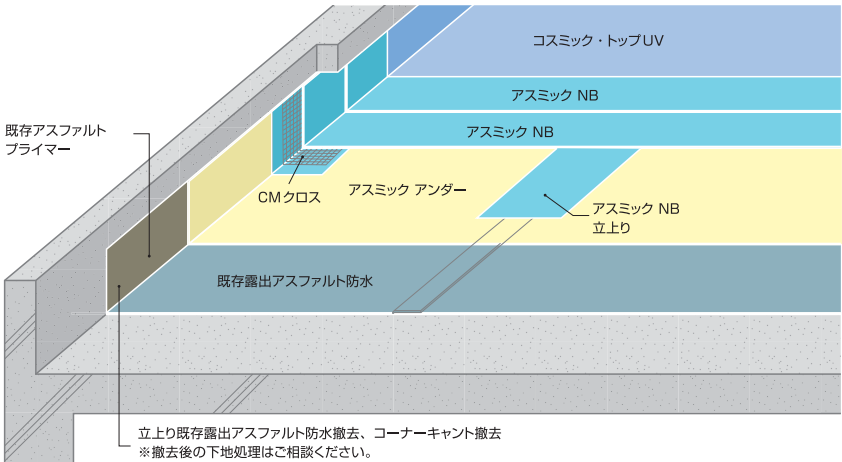
露出アスファルト防水に施工されたアスミックアンダーとアスミックNBとの接着力を 180°はく離試験にて実施した。比較として試験を行った防水工事用アスファルト3種およびアスファルト系活性材に対するアスミックNBとの接着力も同一試験を実施した。その結果、防水工事用アスファルト3種やアスファルト系活性材にアスミックNBは、全く接着しないがアスミックアンダーに対しては、汎用ウレタン塗膜防水材と同等の接着力が確認できた。

アスファルト系調整材とウレタンゴム系塗膜防水材との接着性能比較（強度：N／25mm）

下 地	防水工事用アスファルト3種	アスファルト活性材	アスミックアンダー
写 真			
上 塗	アスミックNB	アスミックNB	アスミックNB
強 度	0	9	121
試験後写真			

露出アスファルト防水改修工法

従来の汎用ウレタン塗膜防水では既存が露出アスファルト防水の場合、直接施工することが出来ませんでした。
アスミックでの露出アスファルト防水改修工法は、常温施工の塗膜材でありながらアスファルト系の下地に接着する「アスミックアンダー」とノンブリードタイプの高伸張形・高強度形ウレタン塗膜防水材「アスミックNB」、高日射反射率で且つ隠蔽性に優れた「コスミック・トップUV」との組合せによって、露出アスファルト防水層が完全シームレスなウレタン塗膜防水に生まれ変わります。



A-20A工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	アスミックアンダー	0.4～kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用 （ジョイント部増し塗）	0.2kg／㎡	
3	アスミックNB	1.2kg／㎡	
4	アスミックNB	1.2kg／㎡	
5	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

A-30A工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	アスミックアンダー	0.4～kg／㎡	3mm
2	アスミックNB 立上り用 （ジョイント部増し塗）	0.2kg／㎡	
3	アスミックNB	1.8kg／㎡	
4	アスミックNB	1.8kg／㎡	
5	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

AT-20A工法（立上り）

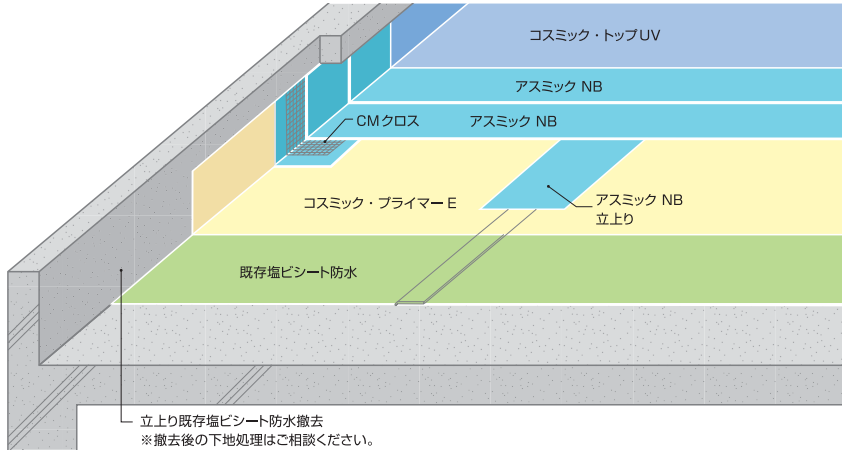
工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	アスミックアンダー	0.3～kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用	1.2kg／㎡	
3	アスミックNB 立上り用	1.2kg／㎡	
4	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

AT-20AC工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	アスミックアンダー	0.3～kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミックNB 立上り用	1.0kg／㎡	
5	アスミックNB 立上り用	1.0kg／㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

塩ビシート防水改修工法

既存が塩ビシート防水の場合の防水改修工事は、新たに塩ビシートを機械固定にて改修する工法が一般的です。
その場合、既存の塩ビシートは機械固定治具の設置に伴い貫通され防水機能を果たさなくなり、新たに施工する塩ビシート単体の防水機能となります。これに対しアスミック塩ビシート改修工法は、既存の塩ビシート防水層の経年劣化による接合破断や剥離部にもアスミックウレタン防水材が充填・補強されます。更に既存の塩ビシート防水層と一体化したアスミック塗膜防水層がオーバーレイされることで、信頼性の高いシームレスな防水層に生まれ変わります。



A-20E工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー E	0.15kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用 （ジョイント部増し塗）	0.2kg／㎡	
3	アスミックNB	1.2kg／㎡	
4	アスミックNB	1.2kg／㎡	
5	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

A-30E工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー E	0.15kg／㎡	3mm
2	アスミックNB 立上り用 （ジョイント部増し塗）	0.2kg／㎡	
3	アスミックNB	1.8kg／㎡	
4	アスミックNB	1.8kg／㎡	
5	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

AT-20E工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用	1.2kg／㎡	
3	アスミックNB 立上り用	1.2kg／㎡	
4	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

※プライマーは下地状況により選定してください。

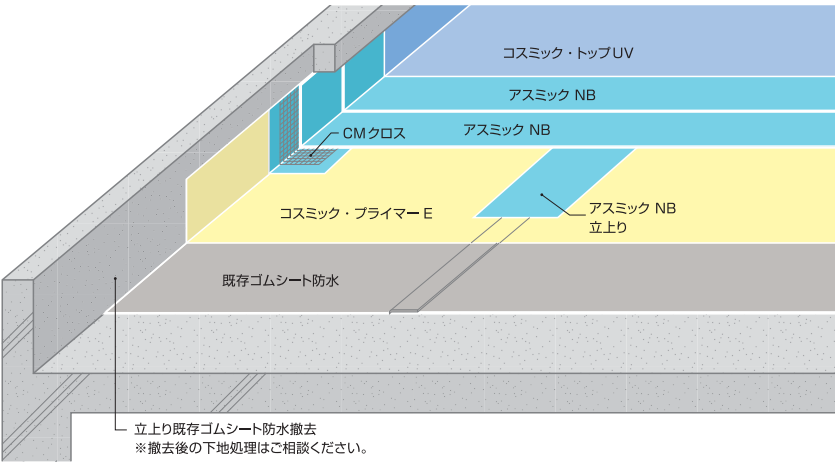
AT-20EC工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミックNB 立上り用	1.0kg／㎡	
5	アスミックNB 立上り用	1.0kg／㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

※プライマーは下地状況により選定してください。

ゴムシート防水改修工法

従来は、既存がゴムシート防水の場合の防水改修工事は、加硫ゴムシートへの接着力を確保することが難しく、下地との接着力が良好な場合でも撤去が前提でした。ジョイント部を増塗することでラップ部も補強され、アスミック塗膜防水層がオーバーレイされることで、既存のゴムシートと一体化した、信頼性の高いシームレスな防水層に生まれ変わります。



A-20G 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー E	0.15kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用 （ジョイント部増し塗）	0.2kg／㎡	
3	アスミックNB	1.2kg／㎡	
4	アスミックNB	1.2kg／㎡	
5	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

A-30G 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー E	0.15kg／㎡	3mm
2	アスミックNB 立上り用 （ジョイント部増し塗）	0.2kg／㎡	
3	アスミックNB	1.8kg／㎡	
4	アスミックNB	1.8kg／㎡	
5	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

AT-20G 工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用	1.2kg／㎡	
3	アスミックNB 立上り用	1.2kg／㎡	
4	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

*プライマーは下地状況により選定してください。

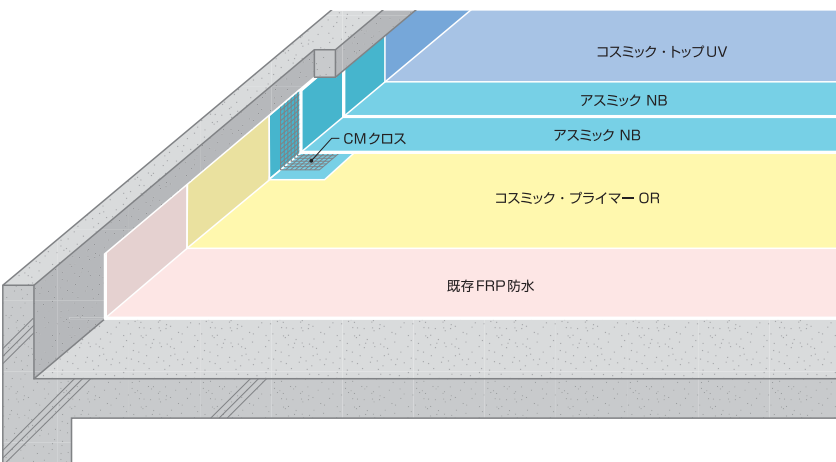
AT-20GC 工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミックNB 立上り用	1.0kg／㎡	
5	アスミックNB 立上り用	1.0kg／㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

*プライマーは下地状況により選定してください。

FRP防水改修工法

戸建住宅のベランダや浴室の防水には従来より FRP 防水が多く採用されていますが、その改修を FRP 防水で施工する場合、施工中にスチレンモノマーが揮発し、特有の異臭が防水工事施工後まで残ります。また接着力を確保するため、既存 FRP 防水の表面を研磨する際の粉塵の発生など、居住しながらの改修においてコスミック・プライマー OR は表面を目粗しして清掃することで、既存 FRP 防水層とアスミックウレタン防水層とを一体化させることが可能であるため、施工上の制約を最小限に抑えることができます。



A-20F 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー OR	0.15kg／㎡	2mm
2	アスミックNB	1.2kg／㎡	
3	アスミックNB	1.2kg／㎡	
4	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

A-30F 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー OR	0.15kg／㎡	3mm
2	アスミックNB	1.8kg／㎡	
3	アスミックNB	1.8kg／㎡	
4	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

AT-20F 工法（立上り）

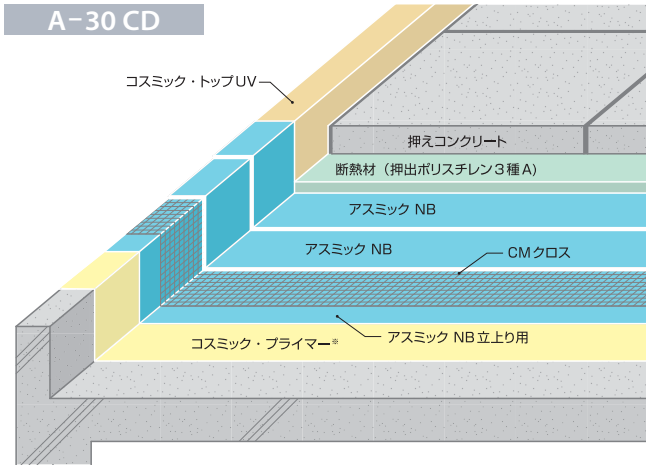
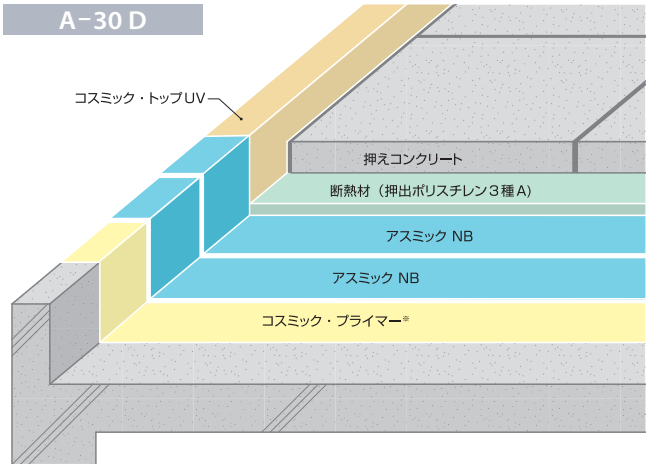
工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー OR	0.15kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用	1.2kg／㎡	
3	アスミックNB 立上り用	1.2kg／㎡	
4	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

AT-20FC 工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー OR	0.15kg／㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミックNB 立上り用	1.0kg／㎡	
5	アスミックNB 立上り用	1.0kg／㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

断熱+押えコンクリート（押えコンクリート防水工法）

防水層に押えコンクリートを打設する場合の一般的な防水仕様は、アスファルト防水となっています。しかしアスファルトは熱可塑性の性状から夏期には軟化し、流動性を持ち、下地との接着強度も弱まります。そのため下地からの水蒸気による防水層の膨れを抑えるため、押えコンクリートの加重（厚み）が必要となります。また、立上り部では、自重によってダレ易く、それを防止するための端末押え金物が必須となっています。アスミック防水工法は、JIS A 6021 高強度形の物性と高い耐アルカリ温水性能によって、高温時においても高い接着力を保持し、長期的に防水性能を担保します。最近では次世代省エネルギー基準の熱抵抗値により、地域別で求められる断熱材の厚さが大幅に厚くなりました。



A-30D 工法または A-30P 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー®	0.2kg／㎡	3mm
2	アスミックNB	1.8kg／㎡	
3	アスミックNB	1.8kg／㎡	

※プライマーは下地状況により選定してください。

AT-20 工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー®	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミックNB立上り用	1.2kg／㎡	
3	アスミックNB立上り用	1.2kg／㎡	
4	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

※プライマーは下地状況により選定してください。

A-30CD 工法または A-30CP 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー®	0.2kg／㎡	3mm
3	アスミックNB	0.4kg／㎡	
4	CMクロス	1.1m／㎡	
5	アスミックNB	1.6kg／㎡	
6	アスミックNB	1.6kg／㎡	

※プライマーは下地状況により選定してください。

AT-20C 工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー®	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミックNB立上り用	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミックNB立上り用	1.0kg／㎡	
5	アスミックNB立上り用	1.0kg／㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

※プライマーは下地状況により選定してください。

外皮性能基準

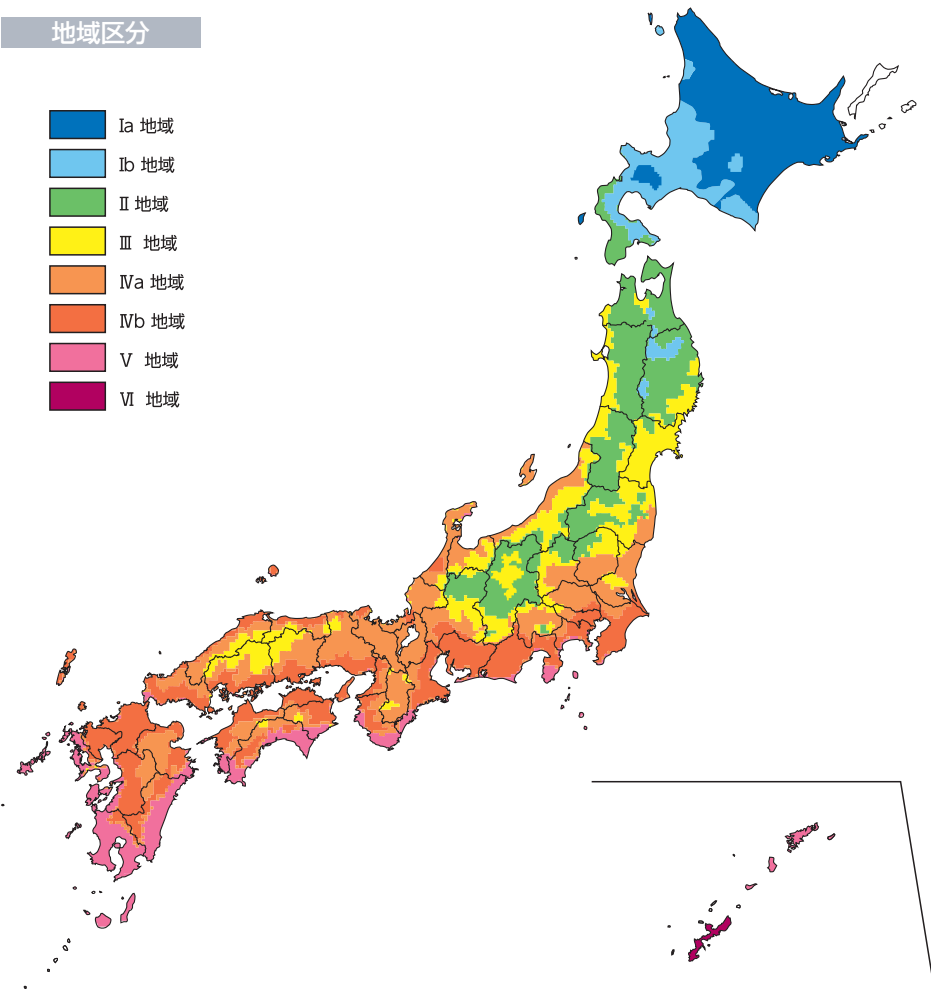
地域区分	外皮平均熱貫流率の基準値 [W/(㎡・k)]	A種押し出し法ポリスチレン フォーム保温板3種厚み (mm)
1	0.46	60
2	0.46	60
3	0.56	50
4	0.75	40
5	0.87	35
6	0.87	35
7	0.87	35
8	—	—

住宅の（改正）省エネルギー基準 国土交通局 住宅局

平成 25 年 10 月 1 日施工

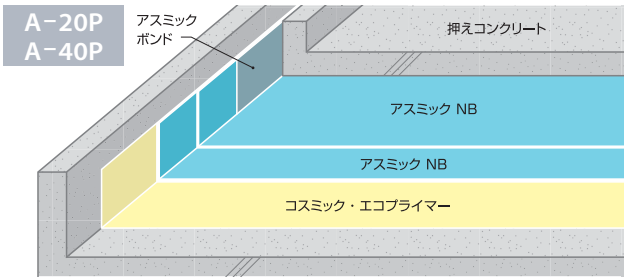
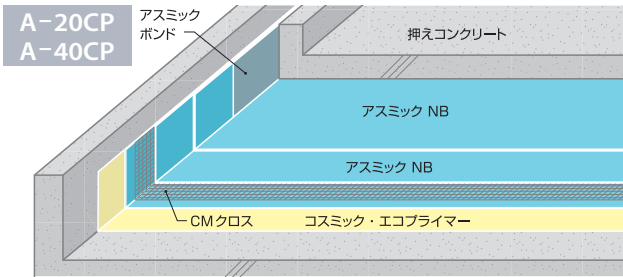
地域区分

- Ia 地域
- Ib 地域
- II 地域
- III 地域
- IVa 地域
- IVb 地域
- V 地域
- VI 地域



室内防水工法

従来の室内防水は、アスファルト防水を施工した後に押えコンクリートを打設する工法がほとんどでした。その理由は押えコンクリートに含浸した水が、乾燥することなく防水層の上に常時滞留するからです。したがって室内防水の防水層は、コンクリートのアルカリ分が含まれた水や温水に対する長期の耐久性が求められます。アルカリ温水に対して耐久性の高いアスミック NB は、室内防水の施工性と信頼を高めます。



A-20P 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・エコプライマー	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミック NB	1.2kg／㎡	
3	アスミック NB	1.2kg／㎡	

A-20CP 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・エコプライマー	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミック NB	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミック NB	1.0kg／㎡	
5	アスミック NB	1.0kg／㎡	

A-40P 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・エコプライマー	0.2kg／㎡	4mm
2	アスミック NB	1.6kg／㎡	
3	アスミック NB	1.6kg／㎡	
4	アスミック NB	1.6kg／㎡	

A-40CP 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・エコプライマー	0.2kg／㎡	4mm
2	アスミック NB	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミック NB	1.5kg／㎡	
5	アスミック NB	1.5kg／㎡	
6	アスミック NB	1.4kg／㎡	

AT-20P 工法（立上り※）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・エコプライマー	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミック NB 立上り用	1.2kg／㎡	
3	アスミック NB 立上り用	1.2kg／㎡	
4	アスミックボンド	0.25kg／㎡	

AT-20CP 工法（立上り※）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・エコプライマー	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミック NB 立上り用	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミック NB 立上り用	1.0kg／㎡	
5	アスミック NB 立上り用	1.0kg／㎡	
6	アスミックボンド	0.25kg／㎡	

AT-30P 工法（立上り※）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・エコプライマー	0.2kg／㎡	3mm
2	アスミック NB 立上り用	1.2kg／㎡	
3	アスミック NB 立上り用	1.2kg／㎡	
4	アスミック NB 立上り用	1.2kg／㎡	
5	アスミックボンド	0.25kg／㎡	

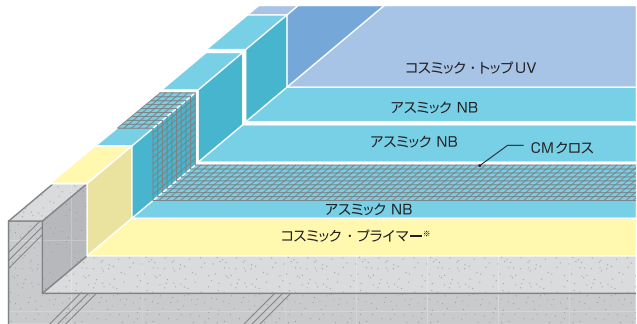
AT-30CP 工法（立上り※）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・エコプライマー	0.2kg／㎡	3mm
2	アスミック NB 立上り用	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミック NB 立上り用	1.1kg／㎡	
5	アスミック NB 立上り用	1.1kg／㎡	
6	アスミック NB 立上り用	1.0kg／㎡	
7	アスミックボンド	0.25kg／㎡	

※ 立上りの高さが腰壁以上の場合は、ラス網とトンボを併用してください。

一般密着工法

一般密着工法は、コンクリート下地面に直接ウレタン防水層を塗布する露出歩行用防水工法です。納まりの良さを生かした狭小部位や複雑な形状部位、既存下地がウレタン防水工法の場合の改修に適しています。近年太陽発電を屋上に設置するケースも多くなり、防水層に長期耐久性が求められる場合も多くなっています。アスミック NB の高耐久性は、新築時の防水工法としても最適な工法です。アスミック NB は、JIS A 6021 の高強度形物性を有しているので、補強布（クロス）が無くても下地のひび割れ追従性があります。更なる補強と確実な厚みを確保するために、補強布（クロス）を入れる工法も準備しています。



A-20 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミック NB	1.2kg／㎡	
3	アスミック NB	1.2kg／㎡	
4	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

※ プライマーは下地状況により選定してください。

A-20C 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミック NB	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミック NB	1.0kg／㎡	
5	アスミック NB	1.0kg／㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

※ プライマーは下地状況により選定してください。

A-30 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	3mm
3	アスミック NB	1.8kg／㎡	
4	アスミック NB	1.8kg／㎡	
5	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

※ プライマーは下地状況により選定してください。

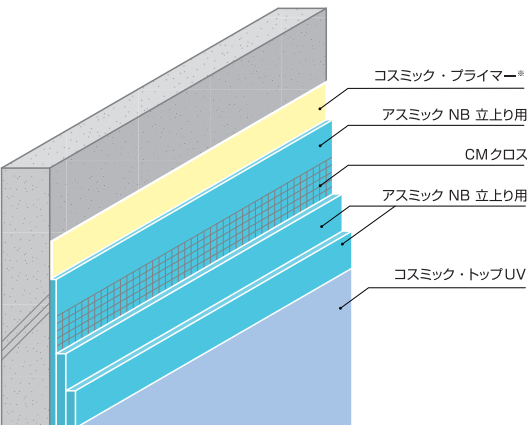
A-30C 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	3mm
2	アスミック NB	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミック NB	1.6kg／㎡	
5	アスミック NB	1.6kg／㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

※ プライマーは下地状況により選定してください。

共通立上り工法

共通立上り工法は、コンクリート下地等の平場の密着工法と通気緩衝工法の立上り部に共通する、立上り専用の工法です。ウレタン塗膜材の厚み確保または補強のためにクロスを併用することも可能です。



AT-20 工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミック NB 立上り用	1.2kg／㎡	
3	アスミック NB 立上り用	1.2kg／㎡	
4	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

※ プライマーは下地状況により選定してください。

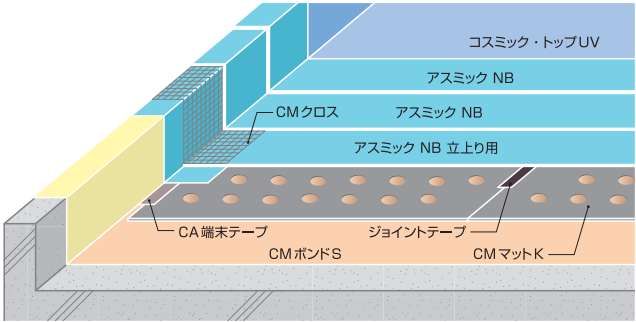
AT-20C 工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	2mm
2	アスミック NB 立上り用	0.4kg／㎡	
3	CMクロス	1.1m／㎡	
4	アスミック NB 立上り用	1.0kg／㎡	
5	アスミック NB 立上り用	1.0kg／㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg／㎡	

※ プライマーは下地状況により選定してください。

CMマットK 不織布穴あき通気緩衝シート仕様

不織布に規則的にあいた穴の部分は、ウレタン防水材が下地に密着するため安定した接着力を発揮します。
表層にヒートプレスしたスパンボンドに柔軟なニードルパンチ不織布のラミネートした複層構造となっているため、下地の挙動を緩衝して防水層の破断を防ぎます。



AK-20 工法（平場）

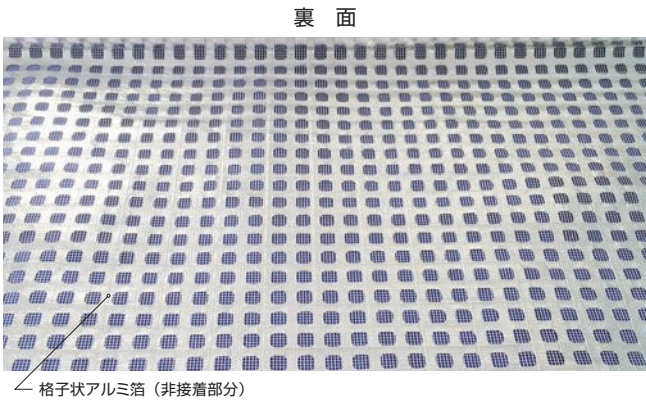
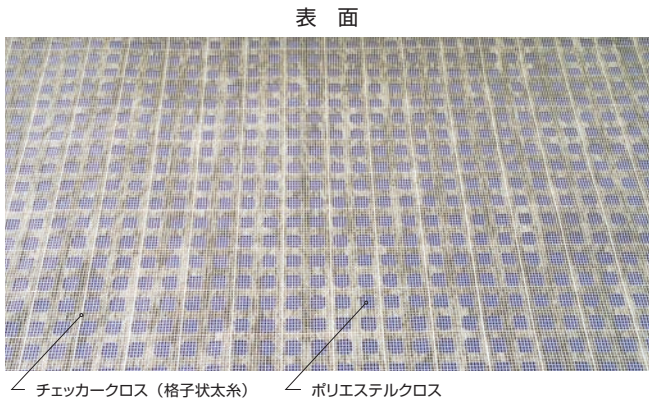
工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	CM ボンド S	0.3kg／㎡	2mm
2	CM マット K ジョイントテープ	1.0m ／㎡ 1.2m ／㎡	
3	アスミック NB 立上り用	1.0kg／㎡	
4	アスミック NB	1.0kg／㎡	
5	アスミック NB	1.0kg／㎡	
6	コスミック・トップ UV	0.2kg／㎡	

AK-30 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	CM ボンド S	0.3kg／㎡	3mm
2	CM マット K ジョイントテープ	1.0m ／㎡ 1.2m ／㎡	
3	アスミック NB 立上り用	1.0kg／㎡	
4	アスミック NB	1.6kg／㎡	
5	アスミック NB	1.6kg／㎡	
6	コスミック・トップ UV	0.2kg／㎡	

CM通気クロス 通気層付補強布仕様

アルミ箔に規則的にあいた穴の部分は、ウレタン防水材が下地に密着するため、安定した接着力を有します。
下地に接するアルミ箔は、下地と接着せず、連続した通気層となります。
補強布（ポリエステルクロス）には、50mm間隔で太い繊維が格子状に組込まれ、ウレタン防水材の補強と均一な厚みの確保が図れます。また下地に接するアルミ箔によって、施工後に非破壊で厚み測定も行えます。



AW-20 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー P	0.2kg／㎡	2mm
2	CM通気クロス	1.1m ／㎡	
3	アスミック NB 立上り用	1.0kg／㎡	
4	アスミック NB	1.0kg／㎡	
5	アスミック NB	1.0kg／㎡	
6	コスミック・トップ UV	0.2kg／㎡	

AW-30 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー P	0.2kg／㎡	3mm
2	CM通気クロス	1.1m ／㎡	
3	アスミック NB 立上り用	1.0kg／㎡	
4	アスミック NB	1.6kg／㎡	
5	アスミック NB	1.6kg／㎡	
6	コスミック・トップ UV	0.2kg／㎡	

CAマットSB ストライプ粘着ブチル自着層付通気緩衝シート仕様

ポリエステル不織布と粘着ブチルから構成される通気緩衝工法専用シートです。
表層の特殊フィルムは十分な撥水効果があり、施工中の降雨にも影響を受けにくくなりました。
不織布の柔軟性と粘着ブチルの接着力により各種下地に馴染みやすく、高伸張・高強度のカラーウレタン「アスミック NB」との組合せにより、下地追従性・通気性・耐久性に優れたウレタン塗膜防水層を形成します。

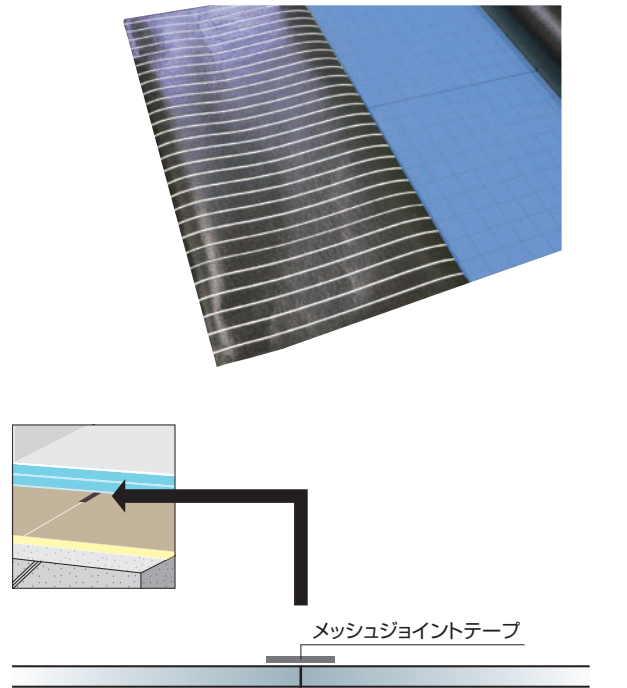
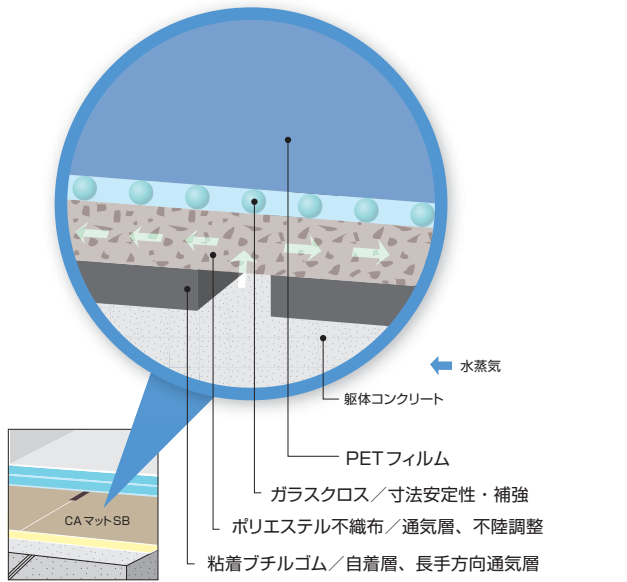
特 長

- ① 優れた「通気」「緩衝」性能
CA マット SB は、裏面のストライプ状の粘着ブチル層とポリエステル不織布の複合通気システムにより優れた通気性能を有します。防水下地から発生する水蒸気の拡散、脱気を円滑に行い、防水層をフクレ難くします。また、寸法安定性に富んだガラスクロス補強層と柔軟な不織布との組合せにより優れた下地追従性（緩衝性能）を発揮します。
- ② 各種防水下地への施工が可能
裏面のストライプブチル自着層は、各種プライマーとの組合せにより、各種防水下地への施工が可能です。柔軟な不織布により馴染みよく下地に接着します。
- ③ 優れた施工性
ポリエステル不織布をベースにしているため、軽量で運搬や取扱いが容易に行えます。また、表層の特殊フィルムは、十分な撥水効果があり、施工中の降雨にも影響を受けにくく、施工効率が大幅にアップします。

製品規格

項目	規格値
長さ（m）	15
幅（mm）	1000
厚さ（mm）	不織布部 0.7 不織布＋自着層 1.05
単位質量（g／㎡）	900
引張強度（N／cm）	たて 80 以上 よこ 52 以上
伸び率（％）	たて 50 以上 よこ 50 以上
引裂強度（N）	たて 40 以上 よこ 50 以上
折曲試験（℃）	たて -20 以上 よこ -20 以上
寸法安定性（％） （60℃、48 hr）	たて 0.00±0.50 よこ 0.00±0.50

CAマットSBのメカニズム



AB-20 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	2mm
2	CA マット SB メッシュジョイントテープ	1.0m ／㎡ 1.2m ／㎡	
3	アスミック NB	1.2kg／㎡	
4	アスミック NB	1.2kg／㎡	
5	コスミック・トップ UV	0.2kg／㎡	

※プライマーは下地状況により選定してください。

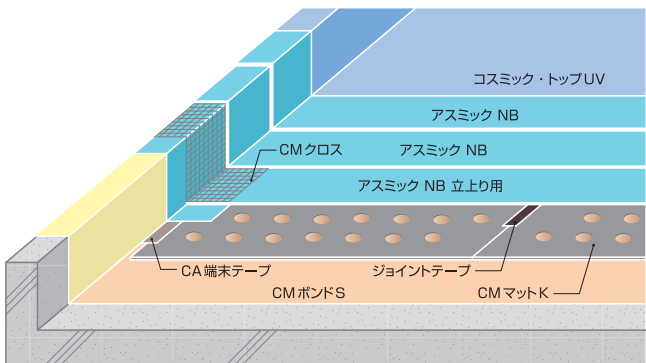
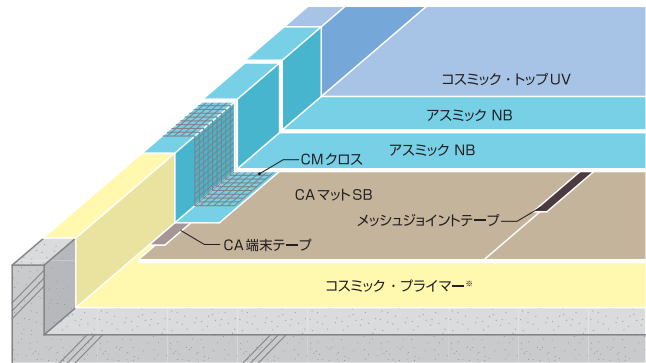
AB-30 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg／㎡	3mm
2	CA マット SB メッシュジョイントテープ	1.0m ／㎡ 1.2m ／㎡	
3	アスミック NB	1.8kg／㎡	
4	アスミック NB	1.8kg／㎡	
5	コスミック・トップ UV	0.2kg／㎡	

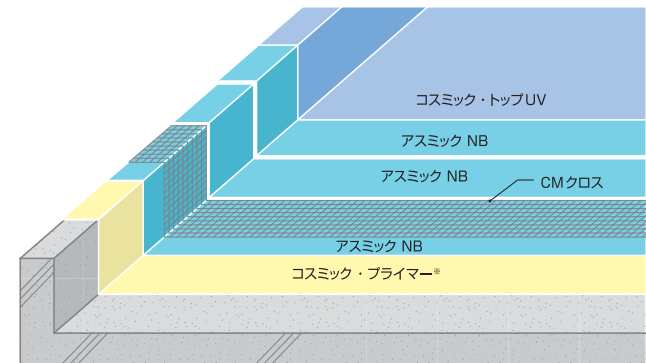
※プライマーは下地状況により選定してください。

公共建築工事標準仕様

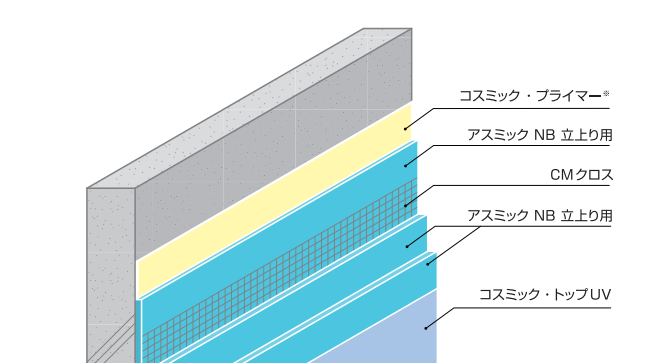
X-1 平場仕様



X-2 平場仕様



X-2 立上り仕様



ABX-1 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg/㎡	3mm
2	CA マットSB	1.0m/㎡	
	メッシュジョイントテープ	1.2m/㎡	
3	アスミックNB	1.8kg/㎡	
4	アスミックNB	1.8kg/㎡	
5	コスミック・トップUV	0.2kg/㎡	

*プライマーは下地状況により選定してください。

AKX-1 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	CM ボンドS	0.3kg/㎡	3mm
2	CM マットK	1.0m/㎡	
	ジョイントテープ	1.2m/㎡	
3	アスミックNB 立上り用	1.0kg/㎡	
4	アスミックNB	1.6kg/㎡	
5	アスミックNB	1.6kg/㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg/㎡	

AX-2 工法（平場）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg/㎡	3mm
2	アスミックNB	0.4kg/㎡	
3	CM クロス	1.1m/㎡	
4	アスミックNB	1.6kg/㎡	
5	アスミックNB	1.6kg/㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg/㎡	

*プライマーは下地状況により選定してください。

ATX-2 工法（立上り）

工程	使用材料	使用量	平均膜厚
1	コスミック・プライマー*	0.2kg/㎡	2mm
2	アスミックNB 立上り用	0.4kg/㎡	
3	CM クロス	1.1m/㎡	
4	アスミックNB 立上り用	1.0kg/㎡	
5	アスミックNB 立上り用	1.0kg/㎡	
6	コスミック・トップUV	0.2kg/㎡	

*プライマーは下地状況により選定してください。

ウレタンゴム系塗膜防水の種類及び工程

種別	X-1		X-2		X-2（立上り）	
工程	材料・工法	量/㎡	材料・工法	量/㎡	材料・工法	量/㎡
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り ^{(注)5}	0.3kg	プライマー塗り	0.2kg	プライマー塗り	0.2kg
2	ウレタンゴム系塗膜 防水材塗り	3.0kg ^{(注)1、(注)4}	ウレタンゴム系塗膜防水材 塗り・補強材張り	0.3kg ^{(注)1}	ウレタンゴム系塗膜防水材 塗り・補強材張り	0.3kg ^{(注)1}
3	ウレタンゴム系塗膜 防水材塗り		ウレタンゴム系塗膜 防水材塗り	2.7kg ^{(注)1、(注)4}	ウレタンゴム系塗膜 防水材塗り	1.7kg ^{(注)1、(注)2、(注)4}
4	仕上げ塗料塗り ^{(注)6}	0.2kg	ウレタンゴム系塗膜 防水材塗り		ウレタンゴム系塗膜 防水材塗り	
5		—	仕上げ塗料塗り ^{(注)6}	0.2kg	仕上げ塗料塗り ^{(注)6}	0.2kg
	平均塗膜厚	3mm	平均塗膜厚	3mm	平均塗膜厚	2mm

(注)1. 表中のウレタンゴム系塗膜防水材塗りの使用量は、硬化物密度が1.0Mg/㎡である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以外の場合にあつては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
(注)2. 立上り部はすべて、種別X-2とし、工程3および4を（ ）とする。
(注)3. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りについては、1工程あたりの使用量を、硬化物密度が1.0Mg/㎡である材料の場合、平場は2.0kg/㎡、立上りは1.2kg/㎡を上限として変更することができる。
(注)4. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りについては2回以上に分割して塗り付ける。
(注)5. 接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料製造所の仕様による。
(注)6. 仕上げ塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、主材料の製造所の仕様による。

《参考》アスミックNB仕様の場合

アスミックの硬化物密度	
材料名	硬化物密度 (Mg/㎡)
アスミックNB	1.2
アスミックNB 立上り用	1.2

したがって、㎡あたりの使用量は、

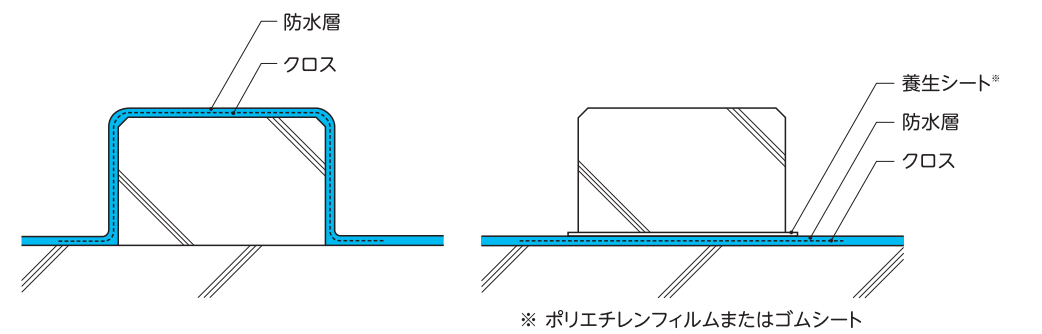
使用量/㎡	=	公共建築工事標準仕様書の量/㎡ × 各材料の硬化物密度 Mg/㎡
	=	公共建築工事標準仕様書の量/㎡ × 1.2 (アスミックNB 平場用)
	=	公共建築工事標準仕様書の量/㎡ × 1.2 (アスミックNB 立上り用)

となります。

納まり図例

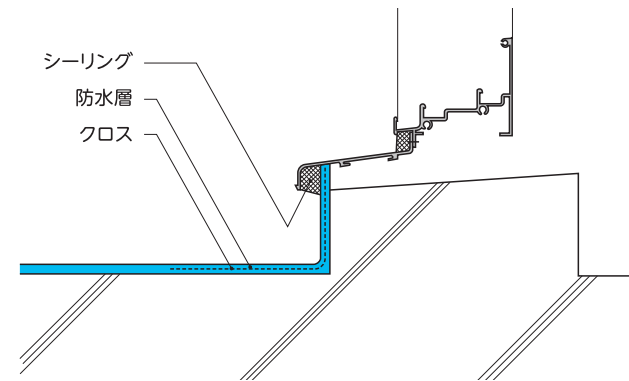
基礎廻り

出入隅部にはクロスを入れることが必要。



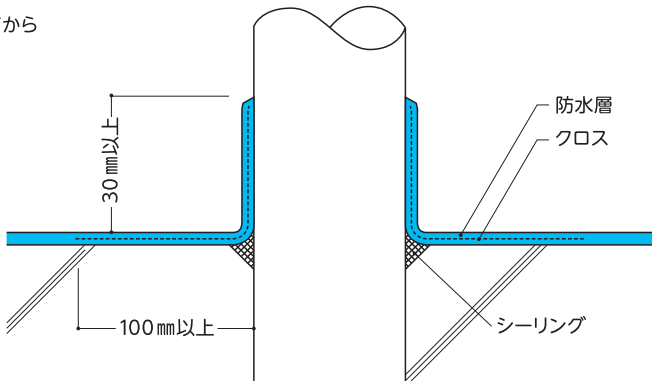
サッシ廻り

建具まで防水材を立ち上げシーリング処理を行い、コーナー部はクロスで補強する。



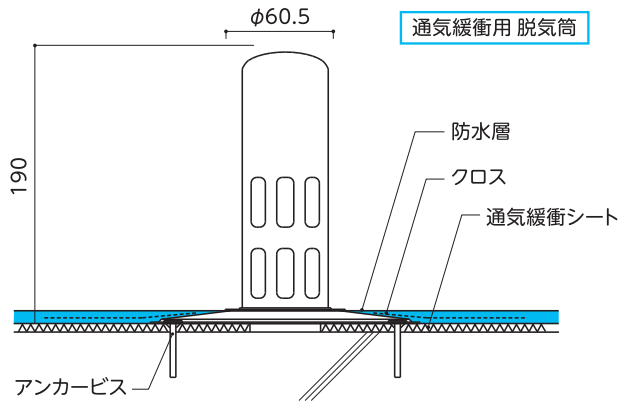
貫通パイプ廻り

パイプ廻りをVカットシール処理してからクロスを入れ防水材を立ち上げる。

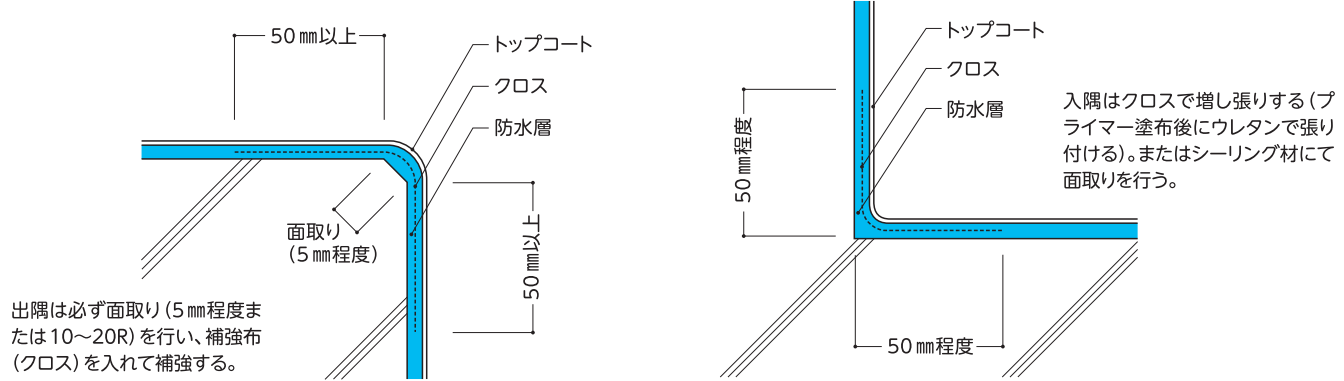


脱気筒廻り

脱気筒廻りはクロスで補強する。

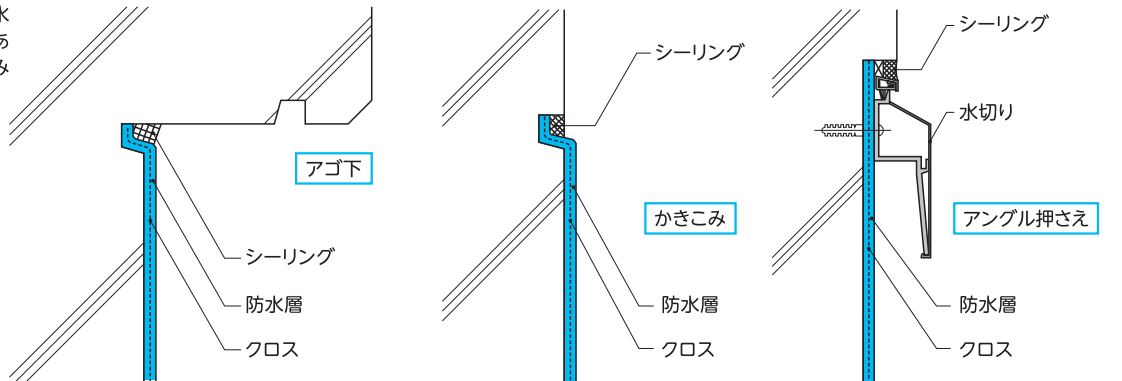


出隅／入隅



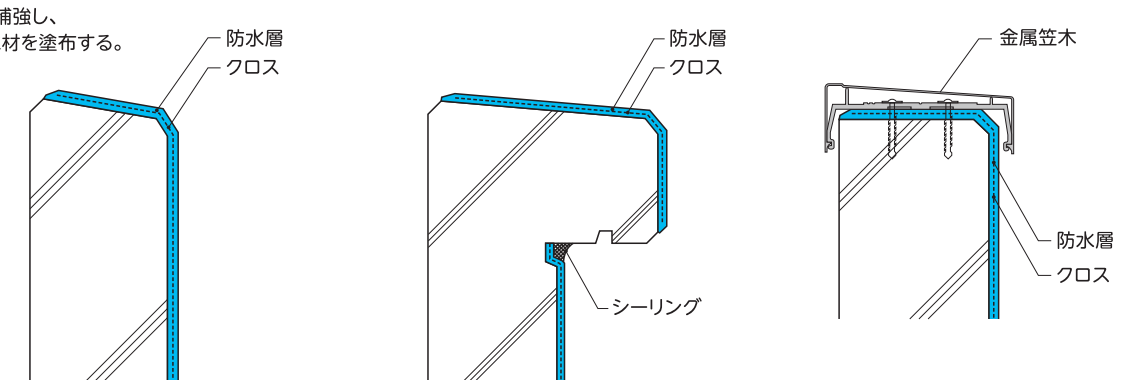
立上り

立上り部はアゴ下まで防水材を塗布し、押さえ層がある場合は躯体まで塗り込みシーリング処理を行う。



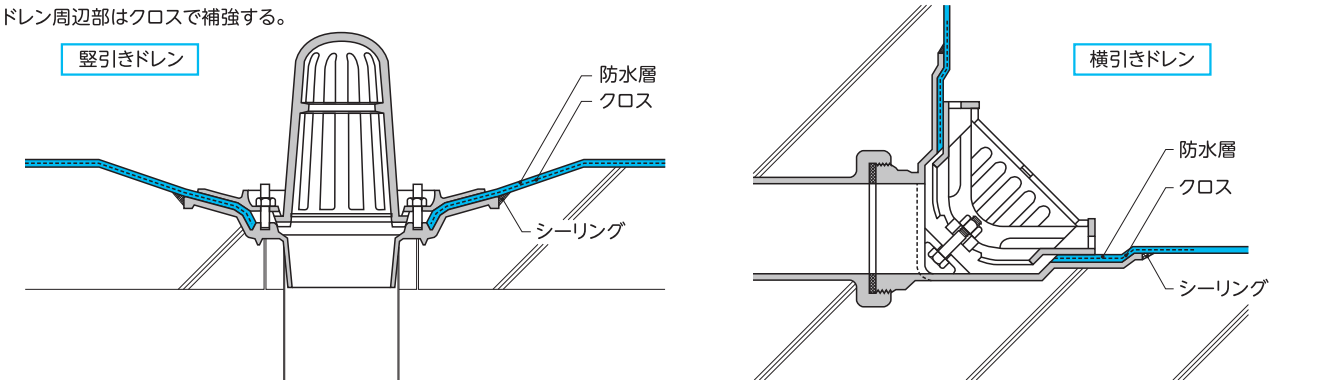
パラペット廻り

パラペット上部はクロスで補強し、立上り部はアゴ下まで防水材を塗布する。



ドレン廻り

ドレン周辺部はクロスで補強する。



施工方法

露出アスファルト防水下地の場合

使用材料	プライマー	ウレタン塗膜防水材	トップコート
平 場	アスミックアンダー	アスミックNB	コスミック・トップUV
立上り		アスミックNB立上り用	

※ジョイント処理はアスミックNB立上り用を使用

下地処理

【平場】

- トップコートが残っている場合は接着試験を行なう。
- 付着物は、ケレンして撤去し、表面の塵埃はブロアーまたは高圧洗浄機で清掃する。
- 既存アスファルト防水層の膨れ部は、下記のいずれかの処理をする。
 - ①膨れ部を十文字に切開して、裏面をバーナーで炙って張り付ける。
 - ②膨れ部を撤去してケレン、清掃後にアスミックアンダーを混合攪拌の上塗布し、アスミック・バルーンをアスミックNB（平場・立上り用）に適量（30～40％）入れて撤去部へ充填する。

【立上り】

- 既存アスファルト防水層は撤去し、ケレン清掃する。
- 下地にひび割れ、浮きがある場合は必要に応じた処理をする。
- 降雨による雨水浸入を防ぐため、端末処理をする。

使用材料			
アスミックアンダー		2液反応硬化型アスファルトウレタン 20kg／set（主剤5kg：硬化剤15kg） アスファルト系下地への接着が良好です。 露出アスファルト防水層撤去時に当日中に塗布することで、仮防水効果が得られます。	
アスミック・バルーン		球形軽量骨材 2号20kg／袋（粒度4.0mm） 4号20kg／袋（粒度1.0mm） アスミックNB（平場・立上り用）に2号30～45％、 4号20～35％程度混入して不陸調整に使用します。 比重がウレタン樹脂と近いため、沈降しにくい骨材です。	
アスミックNB	F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形（旧1類） 一般用JIS A 6021 24kg／set（主剤12kg：硬化剤12kg） 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。	
アスミックNB立上り用	F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形（旧1類） 立上がり用JIS A 6021 18kg／set（主剤9kg：硬化剤9kg） 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。	
コスミック・トップUV	溶剤系 F☆☆☆☆	2液反応硬化型アクリルウレタンハルス系トップコート 14kg／set（主剤6kg：硬化剤8kg） 高反射・高耐久トップコートです。 高日射反射型で隠蔽性が高く、 耐候性に優れたウレタン塗膜防水材用塗料です。	
○光沢仕上げ 標準色5色： ライトグレー、ミントグリーン、タンブラウン、 ブラウン、ライトブラウン ※ 全て受注生産となります。特注色対応は致しません。			

塩ビシート防水下地の場合

使用材料	プライマー	ウレタン塗膜防水材	トップコート
平 場	コスミック・プライマー E	アスミックNB	コスミック・トップUV
立上り	下地処理後プライマー	アスミックNB立上り用	

下地処理

【平場】

- 付着物は、ケレンして撤去し、表面の塵埃はブロアーまたは高圧洗浄機で清掃する。

【立上り】

- 既存塩ビシート防水及び押えアングルは撤去して、ケレン・清掃する。
- コスミック・エポフィラーで下地調整をする。
- 下地にひび割れ、浮きがある場合はメーカーと協議する。

使用材料			
コスミック・エポフィラー		水系エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル（薄塗り） 28kg／set（A剤4kg：B剤4kg：C材20kg） 各種下地への接着が良好です。 プライマーレスでウレタン塗膜防水が接着します。	 A 剤 B 剤 C 材
コスミック・プライマー E	弱溶剤系 F☆☆☆☆	塩ビシート・ゴムシート・ウレタン下地用プライマー 1液湿気型ウレタンプライマー 14kg／缶 標準塗布量（0.1～0.15kg／㎡） ☎1.5～3時間 ☉1.5～12時間 塩ビシートとゴムシートとウレタン下地に兼用できるプライマーです。 弱溶剤のTXフリータイプの環境対応型材料です。	
アスミックNB	F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形（旧1類） 一般用JIS A 6021 24kg／set（主剤12kg：硬化剤12kg） 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。	
アスミックNB立上り用	F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形（旧1類） 立上がり用JIS A 6021 18kg／set（主剤9kg：硬化剤9kg） 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。	
コスミック・トップUV	溶剤系 F☆☆☆☆	2液反応硬化型アクリルウレタンハルス系トップコート 14kg／set（主剤6kg：硬化剤8kg） 高反射・高耐久トップコートです。 高日射反射型で隠蔽性が高く、 耐候性に優れたウレタン塗膜防水材用塗料です。	
○光沢仕上げ 標準色5色： ライトグレー、ミントグリーン、タンブラウン、 ブラウン、ライトブラウン ※ 全て受注生産となります。特注色対応は致しません。			

ゴムシート防水下地の場合

使用材料	プライマー	ウレタン塗膜防水材	トップコート
平 場	コスミック・プライマー E	アスミックNB	コスミック・トップUV
立上り	下地処理後プライマー	アスミックNB立上り用	

下地処理

【平場】

- トップコートが残っている場合は接着試験を行なう。
- 付着物は、ケレンして撤去し、表面の塵埃はブロアーまたは高圧洗浄機で清掃する。

【立上り】

- 既存ゴムシート防水及び押えアングルは撤去して、ケレン・清掃する。
- コスミック・エポフィラーで下地調整をする。
- ゴムシートにひび割れ、浮きがある場合は必ず処理をする。

使用材料		
コスミック・エポフィラー	水系エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル（薄塗り） 28kg／set（A剤4kg：B剤4kg：C材20kg） 各種下地への接着が良好です。 プライマーレスでウレタン塗膜防水が接着します。	 A剤 B剤 C材
コスミック・プライマー E 弱溶剤系 F☆☆☆☆	塩ビシート・ゴムシート・ウレタン下地用プライマー 1液湿気型ウレタンプライマー 14kg／缶 標準塗布量（0.1～0.15kg／㎡） ☞1.5～3時間 ☑1.5～12時間 塩ビシートとゴムシートとウレタン下地に兼用できるプライマーです。 弱溶剤のTXフリータイプの環境対応型材料です。	
アスミックNB F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形（旧1類） 一般用JIS A 6021 24kg／set（主剤12kg：硬化剤12kg） 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた 高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。	
アスミックNB立上り用 F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形（旧1類） 立上がり用JIS A 6021 18kg／set（主剤9kg：硬化剤9kg） 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた 高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。	
コスミック・トップUV 溶剤系 F☆☆☆☆	2液反応硬化型アクリルウレタンハルス系トップコート 14kg／set（主剤6kg：硬化剤8kg） 高反射・高耐久トップコートです。 高日射反射型で隠蔽性が高く、 耐候性に優れたウレタン塗膜防水材用塗料です。	

FRP防水下地の場合

使用材料	プライマー	ウレタン塗膜防水材	トップコート
平 場	コスミック・プライマー OR	アスミックNB	コスミック・トップUV
立上り		アスミックNB立上り用	

下地処理

【平場】

- 既存 FRP 防水層表層部をケレン清掃し、表面の塵埃は溶剤拭きで清掃する。
- 下地のひび割れ、浮きがある場合はメーカーと協議する。（FRP パテ等で処理が可能かどうか）

【立上り】

- 既存 FRP 防水層表層部をケレン清掃し、表面の塵埃は溶剤拭きで清掃する。
- 下地のひび割れ、浮きがある場合はメーカーと協議する。（FRP パテ等で処理が可能かどうか）

使用材料		
コスミック・プライマー OR 溶剤系	FRP下地用プライマー 2液反応硬化型ウレタン・ポリエステル複合プライマー 8kg／set（主剤4kg：硬化剤4kg） 標準塗布量（0.15～0.2kg／㎡） ☞2～3時間 ☑2～4時間 下地FRPのトップがポリエステル系トップの場合は、目粗し及び清掃で 施工可能です。 アクリルウレタン系トップの場合は研磨が必要です。	
アスミックNB F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形（旧1類） 一般用JIS A 6021 24kg／set（主剤12kg：硬化剤12kg） 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた 高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。	
アスミックNB立上り用 F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形（旧1類） 立上がり用JIS A 6021 18kg／set（主剤9kg：硬化剤9kg） 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた 高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。	
コスミック・トップUV 溶剤系 F☆☆☆☆	2液反応硬化型アクリルウレタンハルス系トップコート 14kg／set（主剤6kg：硬化剤8kg） 高反射・高耐久トップコートです。 高日射反射型で隠蔽性が高く、 耐候性に優れたウレタン塗膜防水材用塗料です。	

室内防水の場合

使用材料	プライマー	ウレタン塗膜防水材	トップコート
平 場	コスミック・エコプライマー	アスミックNB	－
立上り		アスミックNB立上り用	アスミックボンド

下地処理

〔平場〕

- 凸凹や段差は、ケレン棒やサンダー等で取り除く。
- 脆弱部はケレン棒やブラシで取り除き、必要に応じてポリマーセメントモルタルで補修する。
- 1mm以上の下地のひび割れは、U カットしてウレタン防水材を充填する。

〔立上り〕

- 凸凹や段差は、ケレン棒やサンダー等で取り除く。
- 脆弱部はケレン棒やブラシで取り除き、必要に応じてポリマーセメントモルタルで補修する。
- 1mm以上の下地のひび割れは、U カットしてウレタン防水材を充填する。
- 出隅はサンダー等で 3 ～ 5mmの面取りをする。

使用材料			
コスミック・エコプライマー	水系 F☆☆☆☆	コンクリート・モルタル下地用プライマー 2液反応硬化型エポキシプライマー 16kg／缶（主剤8kg：硬化剤8kg） 標準塗布量（0.15 ～ 0.2kg／㎡） ☎60分 ☎1.0 ～ 24時間 無溶剤タイプで低臭気環境対応型材料です。 室内防水に最適です。	
アスミックNB	F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形（旧1類） 一般用 JIS A 6021 24kg／set（主剤12kg：硬化剤12kg） 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。	
アスミックNB立上り用	F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形（旧1類） 立上がり用 JIS A 6021 18kg／set（主剤9kg：硬化剤9kg） 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。	
アスミックボンド		インシアネート併用粘着アクリル樹脂接着剤 インシアネート併用粘着アクリル樹脂接着剤 14.7kg／ set（主剤14kg：硬化剤0.7kg） アスミックNBにモルタルおよびコンクリートを施工する際に使用します。	

一般下地条件

※現場状況により異なりますので、以下の条件はあくまで目安とします。

下地水分

→下地は十分乾いていること。

凹凸、段差

- 凹凸、段差がないこと。
- ケレン棒、サンダー等で取り除き、必要に応じてポリマーセメントモルタル等で補修する。
- 下地と取合いが滑らかになるようポリマーセメントモルタル等で補修する。

脆弱部分

- 脆弱部分のないこと。
- ケレン、ブラッシング等で取り除き、必要に応じてポリマーセメントモルタル等で補修する。

浮き、欠け

- 大きな欠けの無いこと。
- ポリマーセメントモルタル等で補修する。
- 浮きのないこと。
- 浮き部分はエポキシ樹脂注入を行う。大きい浮きは撤去して樹脂モルタルなどで平滑に仕上げる。

出隅・入隅

- 出隅は丸面になっていること。
- サンダー等で丸面仕上げにするか、または、5mm程度の面取りをする。
- 直角の入隅であること。
P.20 納まり図参照

下地ひび割れ

- 防水に支障がある大きなひび割れがないこと。
- 1mm以上のひび割れは U カットしてウレタン塗膜防水材を充填する。2mm以上の場合は、補強布を用いて補強塗り等を行う。
- 小さいひび割れはウレタン塗膜防水材を擦り込む。

PC 目地、ALC 目地、コンクリート打継目地

- 防水に支障がある段差、凹凸のないこと。
- 大きい段差、凹凸はサンダーで削るか、ポリマーセメントモルタルで埋める。
- 小さい段差、凹凸はサンダーで削るか、ウレタン塗膜防水材を充填する。
- 密着工法で大きい動きが考えられる場合は、絶縁テープ、絶縁塗料等を用いて、浮かし張り工法、または補強布を用いて補強塗りを行う。

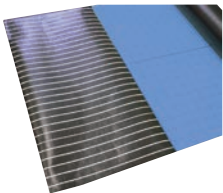
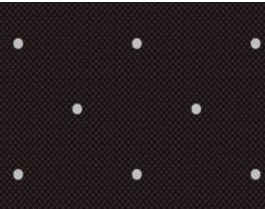
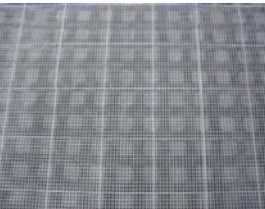
伸縮目地

- 防水に支障がある段差、凹凸のないこと。
- 既存目地材は十分撤去して、バックアップ材をつめてから、ウレタンシーリング材で充填する。
- 目地の縁から外 50mm以上まで、補強布で補強塗りを行う。

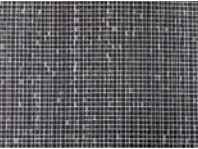
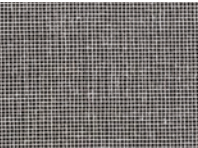
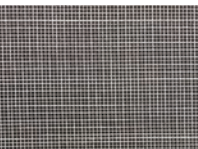
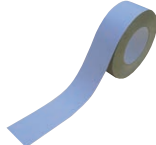
製品紹介

F☆☆☆☆：ホルムアルデヒド拡散等級 ☞：指触乾燥時間(分／24℃) ⓪：適当塗り間隔(時間)

プライマー			
コスミック・プライマー P	溶剤系	F☆☆☆☆	コンクリート・モルタル下地用プライマー 1液湿気硬化型ウレタンプライマー 16kg／缶 標準塗布量 (0.15 ～ 0.2kg／㎡) ☞20分 ⓪0.5 ～ 24時間 スタンダードな一般コンクリート・モルタル下地用プライマーです。 
コスミック・エコプライマー	水系	F☆☆☆☆	コンクリート・モルタル下地用プライマー 2液反応硬化型エポキシプライマー 16kg／缶 (主剤8kg：硬化剤8kg) 標準塗布量 (0.15 ～ 0.2kg／㎡) ☞60分 ⓪1.0 ～ 24時間 無溶剤タイプで低臭気の実環境対応型材料です。 室内防水に最適です。 
コスミック・プライマー E	弱溶剤系	F☆☆☆☆	塩ビシート・ゴムシート・ウレタン下地用プライマー 1液湿気型ウレタンプライマー 14kg／缶 標準塗布量 (0.1 ～ 0.15kg／㎡) ☞1.5 ～ 3時間 ⓪1.5 ～ 12時間 塩ビシートとゴムシートとウレタン下地に兼用できるプライマーです。 弱溶剤のTXフリータイプの環境対応型材料です。 
コスミック・プライマー OR	溶剤系		FRP下地用プライマー 2液反応硬化型ウレタン・ポリエステル複合プライマー 8kg／set (主剤4kg：硬化剤4kg) 標準塗布量 (0.15 ～ 0.2kg／㎡) ☞2 ～ 3時間 ⓪2 ～ 4時間 下地FRPのトップがポリエステル系トップの場合は、目粗し及び清掃で施工可能です。 アクリルウレタン系トップの場合は研磨が必要です。 
下地調整材			
コスミック・エポフィラー			水系エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル (薄塗り) 28kg／set (A剤4kg：B剤4kg：C材20kg) 各種下地への接着が良好です。 プライマーレスでウレタン塗膜防水が接着します。 
アスミックアンダー			2液反応硬化型アスファルトウレタン 20kg／set (主剤5kg：硬化剤15kg) アスファルト系下地への接着が良好です。 露出アスファルト防水層撤去時に当日中に塗布することで、仮防水効果が得られます。 

防水材			
アスミックNB	F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形 (旧1類) 一般用 JIS A 6021 24kg／set (主剤12kg：硬化剤12kg) 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。 	
アスミックNB立上り用	F☆☆☆☆	2液反応硬化型ウレタン塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高強度形高伸張形 (旧1類) 立上がり用 JIS A 6021 18kg／set (主剤9kg：硬化剤9kg) 硬化物密度：1.2 高強度形の強度を有しながら、高伸張形の伸びを有し、耐温水性にも優れた高付加価値のウレタン防水材です。特定化学物質を全く含みません。 	
トップコート			
コスミック・トップUV	溶剤系	F☆☆☆☆	2液反応硬化型アクリルウレタンハルス系トップコート 14kg／set (主剤6kg：硬化剤8kg) ○光沢仕上げ 標準色5色： ライトグレー、ミントグリーン、タンブラウン、 ブラウン、ライトブラウン ※ 全て受注生産となります。特注色対応は致しません。 高反射・高耐久トップコートです。 高日射反射型で隠蔽性が高く、 耐候性に優れたウレタン塗膜防水材用塗料です。 
通気緩衝シート (通気クロス)			
CAマットSB		ポリエステル不織布粘着ブチルゴム自着層ストライプ加工通気緩衝シート 規格 幅1.0m×長さ15m／本 重量 約13kg／本 ポリエステル不織布のシートと粘着ブチルゴムの自着層から構成される通気緩衝シートです。表面の特殊フィルムには、十分な撥水効果があり、施工中の降雨にも影響を受けにくくなっています。各種プライマーを塗布した下地に離型紙を剥がして貼ります。 	
CMマットK		ポリエステル不織布複合穴あき通気緩衝シート 規格 幅1.0m×長さ25m／本 重量 約8kg／本 ポリエステル不織布の穴あき通気緩衝シートです。穴の開いた部分でウレタン防水材と下地が密着するため、安定した接着力が得られます。 	
CM通気クロス		穴あきアルミ箔ラミネートポリエステルクロス 規格 幅1.0m×長さ50m／本 重量 約6kg／本 アルミ箔に規則的あいた穴の部分でウレタン防水材が下地に密着し、格子状のアルミ箔の部分で通気させる粘着補強布です。 〔非破壊膜厚検査対応〕 	

製品紹介

補強布		
CMクロス	防水層補強用ガラスクロス 規格 幅 1.04m × 長さ 100m / 本 重量 約 5kg / 本	
CMクロスソフト	防水層補強用ポリエステルクロス 規格 幅 1.02m × 長さ 100m / 本 重量 約 6kg / 本	
CMチェッカークロス	防水層補強用ポリエステルクロス 規格 幅 1.02m × 長さ 50m / 本 重量 約 3kg / 本 ポリエステルクロスに格子状に太糸があり、太糸目を消すことで塗膜厚の目安となります。	
ジョイントテープ		
メッシュジョイントテープ	特殊フィルム（中央部）ラミ粘着ガラスクロス 規格 幅 100mm × 長さ 50m / 巻	
CMジョイントテープ	ウレタンコーティングポリエステル粘着テープ 規格 幅 50mm × 長さ 50m / 巻	
端末テープ		
CMメッシュテープ	粘着ガラスクロス 規格 幅 100mm × 長さ 50m / 巻	
CA端末テープ	ブチルゴム粘着テープ 規格 幅 100mm × 長さ 25m / 巻	

脱気装置		
ステンレスベントN	ステンレス製筒部脱着式脱気筒 平場設置用です。50 ～ 100㎡に一箇所設置します。 2個 / 箱	
CMウォールベント	ステンレス製脱気装置 入隅に設置してバラベントから脱気します。 50 ～ 100㎡に一箇所設置します。 5個 / 箱	
トップコート用添加剤		
CM骨材	シリカバルーン 500g / 袋 各種トップコート1セットに対して250gを混入後、攪拌して使用します。	
接着剤		
CMボンドS	一液型クロロプレン樹脂接着剤 15kg / 缶 CMマットKの張付け時に使用します。	
ウレタン / モルタル層間接着剤		
アスミックボンド	イソシアネート併用粘着アクリル樹脂接着剤 14.7kg / set（主剤 14kg：硬化剤 0.7kg） アスミックNBにモルタルおよびコンクリートを施工する際に使用します。	

製品紹介

ウレタン塗膜防水材用硬化促進剤	
CM硬化促進剤	金属触媒 1kg／缶 17kg／缶 ウレタン塗膜防水材の硬化を早める際に使用します。 硬化剤に対し0.5%以下で使用してください。
	
ウレタン塗膜防水材用増量材	
アスミック・バルーン	球形軽量骨材 2号20kg／袋（粒度4.0mm） 4号20kg／袋（粒度1.0mm） アスミックNB（平場・立上り用）に2号30～45%、 4号20～35%程度混入して不陸調整に使用します。 比重がウレタン樹脂に近いため、沈降しにくい骨材です。
	
伸縮目地処理材	
NSJ－34	発泡骨材入りアクリル樹脂ポリマーセメントモルタル 34kg／set（A剤4kg：B材10kg：C材20kg） 押えコンクリート仕上げの伸縮目地改修用の充填材です。 押えコンクリートの熱による膨張収縮に対して、平滑性を保ちます。
	

使用上の注意事項と維持管理のお願い

アスミックNB をご採用いただいたお客様へ

アスミック NB 各工法はウレタン樹脂を主とした防水システムです。
ウレタン樹脂は防水工事施工時には液状ですが、化学反応により一定時間経過後に弾性に富んだゴム状のウレタン塗膜防水層となります。
『防水工事施工中』『ご使用時』『維持管理』についてお願い申し上げます。

- 防水工事施工中のお願い
- 防水工事の施工現場、材料や仮設足場等の資材置場は危険ですので立ち入らないでください。
 - 使用材料や洗浄剤の中には有機溶剤を含むものもあります。慣れない臭気が発生する場合もあるため、防水工事施工中は窓を閉める等、できるだけ作業外気との接触を避けるようご協力をお願いします。
 - ウレタン塗膜防水材や仕上げ塗料は、施工後、物性が発現するまで一定時間の養生が必要です。
 - 硬化・乾燥前にウレタン塗膜防水層に水をこぼしたり、重量物を乗せたり、歩行したりしないでください。

■ ご使用時のお願い



スパイクシューズ等接地面の鋭利な履き物で歩行しないでください。



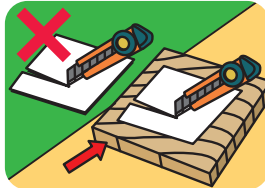
防水層は可燃性なので、火気を使用しないでください。（タバコや花火等）



溶剤、ガソリン、不凍液等溶解力のある液剤をこぼさないでください。



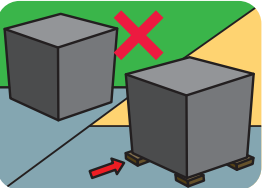
重量物を引きずったり、鉄パイプ等角の鋭利な物を落とさないでください。



カッターナイフ等鋭利な物で作業する際は合板等で十分養生し、防水層を傷付けないようにしてください。



接地面にパイプ状のイスやテーブルを置く場合は、脚先をゴムキャップ等でカバーしてください。



角のある物を置く場合は、間にゴム板等を敷いて養生してください。



ゴルフの練習等を行う場合は、直接衝撃を与えないようラバーマット等を敷いてください。



表面が濡れていると滑りやすいので、雨天および降雨後の歩行は注意してください。



クーリングタワーの防藻剤や殺菌剤の種類によっては、防水層を痛める恐れがあるため、薬剤メーカーに確認の上ご使用ください。



防水層を清掃する際は、中性洗剤以外は使用しないでください。

- 維持管理メンテナンスのお願い
- 水溜りの発生や苔・草等を生やさないように、側溝・ドレン周辺にたまった枯葉や土砂は、定期的に取り除いてください。
 - 防水層の端末・排水ドレン周辺は、半年毎に点検を実施し、異常があった場合はご相談ください。
 - 防水層の仕上げ塗料については、定期的な塗り替えをお勧めします。当社または工事をした防水施工業者へ依頼してください。（有償）

製品一覧

分類	品名	荷姿	種類	用途
下地調整材	コスミック・エポフィラー	28kg／set (A：4kg・B：4kg・C：20kg)	水系エポキシ樹脂系 ポリマーセメントモルタル	各種下地接着材兼下地調整材
	アスミックアンダー	20kg／set (主5kg・硬15kg)	2液反応硬化型アスファルトウレタン	アスファルト系下地接着材兼下地調整材
目地処理材	NSJ－34	34kg／set (A：4kg・B：10kg・C：20kg)	発泡骨材配合モルタル	押えコンクリート伸縮目地改修用 充填材
ウレタン塗膜防水材 (2成分形手塗タイプ)	アスミックNB	24kg／set (主12kg・硬12kg)	2液反応硬化型カラーウレタン JIS A 6021 屋根用塗膜防水材 高強度形・高伸張形 (旧1類)	カラーウレタン (グレー) 一般用
	アスミックNB立上り用	18kg／set (主9kg・硬9kg)		カラーウレタン (グレー) 立上り用
ウレタン塗膜防水材 促進剤	CM硬化促進剤	1kg／缶・17kg／缶	金属触媒	アスミックNB硬化促進剤
プライマー	コスミック・プライマー P	16kg／缶	1液湿気硬化型ウレタン樹脂	コンクリート、 モルタル下地用プライマー
	コスミック・エコプライマー	16kg／set (主8kg・硬8kg) プラスチックベール缶	水系2液反応硬化型エポキシ樹脂	コンクリート、モルタル下地用 プライマー (低臭気)
	コスミック・プライマー E	14kg／缶	弱溶剤型1液湿気硬化型ウレタン樹脂	塩ビシート、ゴムシート、 ウレタン下地用層間プライマー
	コスミック・プライマー OR	8kg／set (主4kg・硬4kg)	2液反応硬化型ウレタン・ ポリエステル複合樹脂	FRP下地用プライマー
	コスミック・プライマー EP	12kg／set (主6kg・硬6kg)	2液反応硬化型エポキシ樹脂	コンクリート、モルタル及び 金属下地用プライマー
トップコート	コスミック・トップUV	14kg／set (主6kg・硬8kg)	2液反応硬化型アクリルウレタン樹脂	光沢仕上げ、高日射反射タイプ 標準色 (ライトグレー、ミントグ リーン、タンブラウン、ブラウン、 ライトブラウンのみ)
トップコート用 添加剤	CM骨材	500g／袋	無機系特殊中空バルーン	トップコート粗面仕上げ用骨材
接着剤	CMボンドS	15kg／缶	1液型クロロブレン系接着剤	CMマットK接着用
ウレタン／モルタル 層間接着剤	アスミックボンド	14.7kg／set (主14kg・硬0.7kg)	イソシアネート併用粘着アクリル樹脂	モルタル・コンクリート仕上用
ウレタン樹脂増量材	アスミック・バルーン	2号20kg／袋 (粒度4.0mm) 4号20kg／袋 (粒度1.0mm)	球形軽量骨材	ウレタン樹脂不陸調整用充填材

分類	品名	荷姿	種類	用途
通気緩衝シート	CAマットSB	幅1.0m×長さ15m／本	ポリエステル不織布粘着ブチルシート	自着層付通気緩衝シート
	CMマットK	幅1.0m×長さ25m／本	ポリエステル不織布複合シート	不織布穴あき通気緩衝シート
通気性補強布	CM通気クロス	幅1.0m×長さ50m／本	穴あきアルミ箔ラミネート ポリエステルクロス	密着併用通気緩衝シート
補強材	CMクロス	幅1.04m×長さ100m／本	ガラス繊維クロス	防水層補強材
	CMクロスソフト	幅1.02m×長さ100m／本	ポリエステル繊維クロス	防水層補強材 (立上り・役物用)
	CMチェッカークロス	幅1.02m×長さ50m／本	ポリエステル繊維クロス (格子状太糸入り)	防水層補強材 (膜厚管理用)
ジョイントテープ	メッシュジョイントテープ	幅100mm×長さ50m／本	特殊フィルム (中央部) ラミ粘着ガラスクロス	CAマットSB用ジョイントテープ
	CMジョイントテープ	幅50mm×長さ50m／本	粘着ガラスクロス	CMマットK用ジョイントテープ
端末テープ	CMメッシュテープ	幅100mm×長さ50m／本	粘着ガラスクロス	CAマットSB、 CMマットK端末用テープ
	CA端末テープ	幅100mm×長さ25m／本	粘着ブチル系テープ	
脱気筒	ステンレスベントN	2個／箱	ステンレス製筒部脱着式	平場設置タイプ
	CMウォールベント	5個／箱	ステンレス製バラベント脱気式	入隅設置タイプ